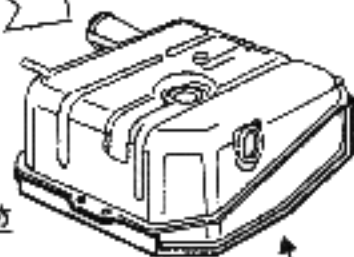


対策箇所説明図



車両前方



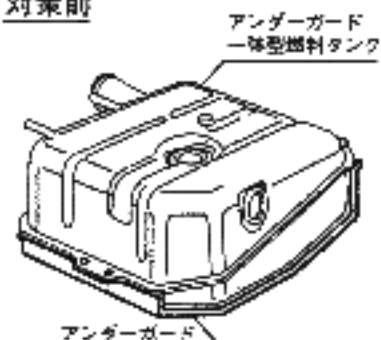
アンダーガード一体型燃料タンク

基準不適合発生箇所

燃料タンクとアンダーガードの間に水分や異物が入り込み、燃料タンクの下側に残留した状態になるものがある。そのままの状態で使用を続けると、燃料タンクの底が腐食して燃料が漏れ、最悪の場合、火災にいたるおそれがある。

注：□内は交換部品を示す。

対策前



対策後

図31：アンダーガードの形状にて判断する。



対策の内容

全車両、燃料タンクとアンダーガードを対策品と交換する。